

ヤマザクラ

2016 年(平成 28 年)7 月 20 日(水)発行

第 12 回通常総会開催

第 12 回通常総会は、2016（平成 28）年 6 月 18 日（土）午後 2 時 00 分から、いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘で開催されました。

まず、NPO 法人いわきの森に親しむ会を代表して、木田理事長より挨拶がありました。

本日の総会出席者について、正会員 114 名中、総会出席者 26 名、委任状 43 名、合計 69 名と報告されました。よって、過半数 57 名を超え総会成立の報告がされました。



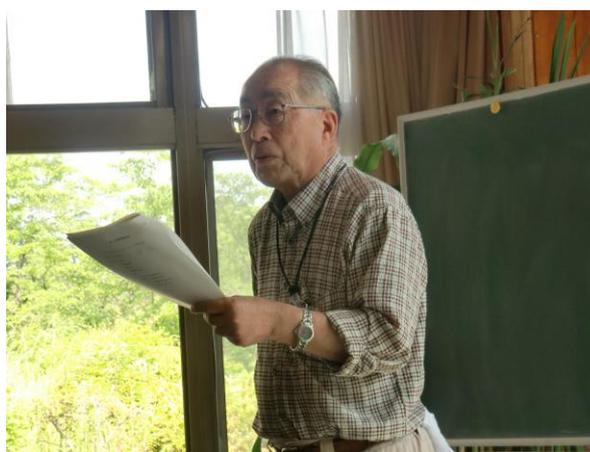
木田理事長

総会の議長には、武田征也さんが選出され、議事録作成者に木田都城子、佐藤誠一さんの 2 名が選任され議事にはいりました。



議長の武田征也さん

副理事長より平成 27 年度事業及び平成 27 年度会計が詳細に報告されました。



議案の報告・提案する松崎副理事長

引き続き、監事（猪村珠紀さん）より監査報告され慎重審議の結果、平成 27 年度事業は原案通り承認されました。



監査報告する監事の猪村さん

平成 27 年度議業報告の主な事項を記載します。

1.市民の森づくり事業活動

(1)活動人員と安全対策

- ①活動人員は総計 3,457 名となり対前年度比 17%増となりました。この結果につきましては、前年より継続の栗園跡地再生整備の作業と、今年度より地元林業事業体と協同で取組みはじめた苗畑関係の作業が増加したことによります。
- ②「安全第一に楽しく」をモットーに活動し無事故無災害で活動できました。

(2)湯ノ岳

湯ノ岳フィールドの整備につきましては、栗園跡地再生整備と苗畑関係作業が加わり昨年比 37%増となりました。その他はにつきましては若干減となりました。

(3)21 世紀の森

山火事跡地については、ほぼ予定どおり整備を終えることができました。

(4)岩出・好間

- ①従来通り冬水田んぼの作業と、カタクリ自生の広葉樹の抜き切り作業を実施しました。

(5)戸渡里山

- ①「とわだ遊学の森」フィールドは最小限の整備にとどまりました。
- ②ソバ畑は昨年同様の取組みをしました。

(6)いわき明星大学学校林

自然体験プログラムのための演習林としての機能を維持するための整備を行いました。

(7)新舞子海岸林

- ①磐城森林管理署といわき林業青年会議所の協力を得て、海岸林再生の「苗木 for いわき」プロジェクトに対して、多くのボランティアの参加を得て整備を行いました。

(8)今後の課題

- ①地元林業事業体と協働の苗木作り事業の効率的な取組をどう実現していくか求められています。
- ②森林整備の担い手の確保のために会員の増員の他、若い人たちが土・日に活動できる仕組みづくりを考えていく必要があります。
- ③海岸林再生整備に対しては、今年度地元企業が新たに参加しましたが、引き続き多くの人達が参加できるような企画を考えます。



総会会場風景

2.森とのつき合い方の勉強、プログラム開発に係る事業活動

参加人数は会員 398 名、スタッフ 265 名、他 669 名で合計のべ人数 1,332 名、対前年度比 89%増となりました。森林と市民を結ぶ全国の集いや、筑波大等 6 大学の土壌研究会支援等が新たに加わったことが主な要因でした。

3.自然案内人の育成ならびにインタープリテーション事業活動

- ①自然案内人養成講座は、日本自然保護協会 時田先生（自然観察）によるものにとどまりました。

目次 主な内容

P

第十二回通常総会開催	1
森林整備班の活動	3
森林整備班の定例活動	
海岸林再生整備参加者	
いわき金成公園自然観察会	4
第四十四回いわき市植樹祭	4
海岸防災林植樹祭	4
キノコ班の活動	5
木工クラフト班の活動	5
木工ろくろ導入されました	
農作業 2016 夏の活動報告	6
田植え	6
プログラム勉強会グループ活動	7
小学校等における学習支援活動	
その他の活動	
草木染勉強会	8
ろうきん森の学校	9
開催日	
1 平成 28 年 5 月 15 日	
2 平成 28 年 6 月 19 日	
3 平成 28 年 7 月 17 日	
ろうきん連合会自然体験活動	10
ろうきん東北新入職員研修	11
湯ノ岳山荘よりのお知らせ	12
ヒノキ風呂完成	
山荘のリホームのその後	
Facebook ページの案内	12

②自然観察会・自然体験活動は、対前年度比26%減となりました。湯ノ岳山荘以外での他団体主催木工クラブト教室支援等が大幅に減少したことと、環境教育支援小学校数が減少したことによります。

4.森林や林業に関する啓蒙事業活動

①従来通りうつくしま 21 森林づくりネットワークの地方推進組織として活動してまいりました。

5.森に関する各種情報の発信事業活動

- ①会報「ヤマザクラ」年 4 回発行しました。
- ②会員や参加者向けに、湯ノ岳山荘の掲示板に森に関する各種情報や、講習会などの情報チラシを掲示しました。
- ③ イベント終了後にホームページを更新し、写真や動画を多用し充実した内容を発信しました。

6.その他本会の目的達成に必要な事業活動

①指定管理者としていわき市林業研修センター森林休養施設湯ノ岳山荘の管理運営を行いました。

7.その他

(1)ろうきん森の学校事業

ろうきん森の学校事業の第 1 期を終了し、第 2 期目初年度として昨年同様活動行いました。

◎平成 28 年度事業計画・予算（案）提案

松崎副理事長より平成 28 年度事業計画（案）及び予算（案）が提案されました。

平成 28 年度事業計画（案）・予算（案）も慎重審議の結果原案通り承認されました。

事業の実施方針は「安全第一に楽しく」を motto に会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組んでいくことを基本とします。

ろうきん森の学校が 10 年を経過第 2 期 2 年目に入り、森の学校事業の一層充実するよう強化していく等について詳しく説明され、慎重審議の上平成 28 年度事業及び予算とも原案通り承認されました。

予定された議事は全部終了、第 12 回通常総会は無事終了しました。

【総会後の懇親会にて】

懇談会では山荘構内にゴミ等誰でもつまんで食べられるものを植えようと話が出ました。

さくらんぼ等具体的な種類も出ましたが先ず植栽場所等検討することとしました。

（さくらんぼの育成はハードルが高いかも）。

森林整備班の活動

（伊藤）

1. 森林整備班の定例活動一覧表

(2016,(H28).04.20~07.13)

月/日	曜	実施項目	参加人数
4/20	水	コナラ・クヌギ玉切材の搬出	3
4/27	水	コナラ・クヌギ玉切作業	3
5/7	土	コナラ・クヌギ玉切と搬出作業	4
5/18	水	コナラ・クヌギ玉切材の搬出	3 (5)
5/21	土	薪割作業	4
5/25	水	薪割作業	3
6/1	水	薪割作業	5 (4)
6/4	土	薪割作業	4
6/8	水	薪割作業	4 (4)
6/22	水	バンガロー周辺の整備（草刈他）	4 (3)
6/29	水	栗園跡地の刈払・整備個所選木	4
7/6	水	栗園跡地の刈払	4 (3)
7/13	水	栗園跡地のクヌギ植樹準備	2
計		稼働日数 13 日	47 (19)

（数字）はフクシマ環境未来基地より

ワークキャンプメンバーによる森林づくり体験者

今回の森林整備班の活動は薪ストーブの燃料確保の薪割を主力に実施しました。

昨年の反省から薪材質の低下前に作業を終了したいと考えておりましたが残念ながら未達となっております。

夏となり気温や湿度が上昇したので熱中症等に注意、適度な休憩と水分を補給し健康管理と作業安全に努めました。

現在森林整備班メンバーの募集を行っております是非応募下さい。整備作業を行いますと、これまでと違った森林が見えるようになりますし適度な運動で健康管理にも最適です。



6/1 薪割作業 ワークキャンプメンバーは、海外より来日されたメンバーを含む、メキシコ(男性)、キリギス(女性)を含む

2.海岸林の再生整備参加者数 松崎
(2016.4～6月)

月/日	整備内容	本会 トチギ	ボラン ティア	その 他	計
4/23	地拵え	2	8	-	10
1/23	地拵え、植樹	6	30	-	36
2/8	地拵え、下刈り	2	14	-	16
3/3	〃、〃	2	14	-	16
3/12	地拵え、植樹	7	127	-	134
3/13	植樹	8	26	-	34
3/26	〃	5	67	-	72
	計	32	286	-	318

いわき金成公園自然観察会

金成公園里山づくり協議会では、岩出の郷を中心に自然観察会を下記日程で実施しました。

1. 実施月日 平成 28 年 5 月 8 日 (日)
9:00～12:00
2. 参加者 30 名
3. 実施結果

本会では観察会のリーダーを務め参加者を新緑の公園を案内しました。

当日は快晴で集合場所には鯉のぼりが泳いでいました。また、爽やかな風と新緑、山藤の花は満開、木漏れ日の森をゆっくり観察、新緑の森を楽しみました。 観察できた主な花

ヤマフジ、ヤブデマリ、キンラン、ギンラン、サワグルマ、カマツカ、イカリソウ、ヤマツツジ、アマドコロ、ハルノギンリョウソウ



観察会スナップ



ヤブデマリ

サワグルマ

第 44 回いわき市植樹祭に参加

市制施行 50 周年記念事業として、東日本大震災後初めての植樹祭でした。

震災で甚大な津波被害を受けた海岸防災林を会場とし鎮魂と再生への思いをこめた植樹祭として、平成 28 年 6 月 18 日 (土) 10 時～12 時に新舞子浜公園緑地で開催されました。植樹する樹種はクロマツ 600 本でした。

参加者は、夏井小学校児童・藤間小学校緑の少年団や多くの市民が参加されました。

また、震災で亡くなられた方々の鎮魂にいわき海星高校「チームじゃんがら」による「じゃんがら念仏踊」りが披露されました。

本会からは木田理事長を含め 8 名が参加しクロマツを植樹してきました。(伊藤)



クロマツを植樹する

海岸防災林植樹祭

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会といわき青年林業会議所の共催による平成 28 年度海岸防災林植樹祭は平成 28 年 6 月 25 日 (土) 13:00～新舞子国有林に於いて開催されました。

本会からは木田理事長はじめ多くの会員とフクシマ環境未来基地の方々に参加しました。

また湯ノ岳山荘で自遊学キャンプに参加していた児童 20 名を案内し育樹祭参加しました。

植樹祭は県内外の多くの参加者によりクロマツ 500 本を植樹しました。(伊藤)



植樹後の集合写真

キノコ班の活動

荒川・松本（學）

キノコ班では今年度のキノコ栽培の本格的な作業を開始しました。内容は菌床伏せ込み作業を実施しました。作業には、フクシマ環境未来基地でワークキャンプの方々が参加しキノコ栽培について学びと体験をしました。

菌床伏せ込みについて

No	月/日	品名	菌床(個)
1	6/15	マイタケ	(53)
2	6/22	ハタケシメジ	(51)
3	7/6～	ヒラタケ	(60)
4	7/6～	ナメコ	(60)
5	7/6～	ブナシメジ	(34)

菌床の伏せ込み作業写真



6/22 ハタケシメジの伏せ込み作業

今回菌床栽培に挑戦です。マイタケとハタケシメジは本伏せしました。

7月に入り、ヒラタケとナメコ・ブナシメジの菌床を伏せ込みました。これらはキノコ発生の適温時に菌床を開封します。

何れも今年秋には収穫できますので楽しみです。キノコの栽培や料理に興味のある方は一緒に楽しみながらキノコ栽培をしてみませんかお待ちしております。

自分で作って食べるキノコは格別ですヨ。

木工クラブ班の活動

(活動期間 1016.04.19～07.19)

1.定例活動について下記の通りとなります。

定例活動延べ日数は7日、活動参加延べ人数は66名（女性31名、男性35名）

スタッフは12名となりました。

作品は額縁・書類トレイ・レターケース・そばの受け皿に挑戦しました。



レターケース製作



そばの盛り付け容器の製作

2. 木工ろくろ導入されました

6月23日（木）に旭機械製の木工ロクロが湯ノ岳森の工房に設置されました。

操作は思いの外簡易ですが安全確保のため取扱は十分に訓練され運用されますようお願い致します。運用担当は木工班となり代表は佐藤勝美・桑原敏和さんが務めますので宜しくお願い致します。

安全で素晴らしい作品が出来るのを期待しております。 取り扱えの説明を受ける



取扱の説明を受ける

農作業 2016 年夏の活動報告

農業班 太田

1. 収穫作業(主なもの)を行いました

6月6日、タマネギ、ソラマメ、収穫

タマネギは生育が悪くて、不作。一方、ソラマメは虫害なく豊作でした。

7月11日、ジャガ芋掘り、堆肥の効果か、収穫量が多い結果でした。



ジャガイモの収穫

2. 苗の植え付け作業

ハウスの温床で育成したさつま芋の苗などの植え付けを行いました。

さつま芋：5月9日、23日、6月27日の3回で計約400本。



さつま芋苗の植え付け

その他、カボチャ、長ネギなどの植え付け。また、落花生、エダマメなどの種まき作業を行いました。

3. その他

- 1) 5月22日、好間の畑で平の小学校農業体験で150本の苗植付けを支援。
- 2) 5月30日、軽トラで畑にタンクに水を入れて運搬しました。
- 3) 6月3日、4軒の地主さん宅などに収穫したソラマメを届けました。
- 4) 使用している農道の補修、草刈りなどを行いました。
- 5) イノシシについては、昨年以來侵入した形跡がなく、経過しています。以上

田植 (好間冬水たんぼ)

1. 日時 平成 28 年 5 月 22 日 (日)

9:00~12:00

2. 場所 好間 冬水たんぼ 500㎡

通常の水田 500㎡

(当日は岩出の郷でも実施されました)

3. 参加者 会員 8 名、その他 17 名

4. 品種 コシヒカリ

今年は湯ノ岳山荘で「自遊学キャンプ」を実施されていた県内の児童生徒 17 名が田植を体験しました。

田植作業は、手植え(冬水たんぼ)と機械植えを実施しました。

自遊学キャンプのメンバーは冬水たんぼの手植えを体験しました。子供達は、水田のヌカリにハマッテ転ぶ者、苗を植えた所を歩き回る者等々子供の声が響く田植でした。

田植体験後は、水路や水田で水生生き物の観察を行い、オタマジャクシ、アメリカザリガニ、ゲンゴロウ、ドジョウ等を争って捕獲する等歓声上がる楽しい田植でした。

なお、田植後サツマイモ苗を植え付けも体験し、早くも秋の稲刈や芋ほりを体験したいと話しておりました。

(伊藤)



田植えスナップ



自遊学キャンプの児童たち

プログラム勉強会グループの活動

佐藤 烈

この四半期は次のとおり 4 回の総合学習の支援を行いました。

1 小学校等における学習支援活動(4/1～6/30)

月日	学校名	学年	学 習	参加者	支 援 者
4/26	錦東小	3	総合学習	22	5
5/26	平六小	3	総合学習	43	9
6/9	江名小	3・4	森林環境 学習	31	10
6/16	中央 台北小	4	総合学習	69	10

以下に 5/26 の平六小の総合学習支援と 6/9 の江名小の森林環境学習支援の概要を紹介します。

5/26 (木) に平 6 小 3 年生を対象に今年度第 1 回目の総合学習支援を行いました。



平 6 小森林環境学習支援で学校裏山にて
今年度は昨年度の反省を踏まえていくつか内容や手法を変更してみました。
その一つは年間を通じて観察する「班の木」
学校内に設定することにしたことです。



平 6 小森林環境学習支援で学校裏山にて

これまでは、校外に「班の木」を設定していたのですが、それだと年間で私たちが支援するときしか観察できず、花の時期や実がなった時期を見逃すことがままあって子供達の関心をあまりひかないことがあったのですが、校内に設定することで、私たちが支援で訪れるとき以外でも、毎日の大休憩のときに観察することができるようにしたことです。

もう一つ上げると、子供が自ら観察し、気づくためにはどのようにすればいいのか考え今年度は宝探しゲーム的な遊びを試してみることになりました。

実際に宝探しゲームをしてみると、子供は遊びと認識し、すごい集中力を発揮しました。



江名小学校 湯ノ岳山荘での学習

6/9 (木) には、湯ノ岳山荘で江名小の 3・4 年生を対象に森林環境学習の第 1 回目を行いました。



江名小学校 湯ノ岳山荘での学習

昨年は午前に予定していた山荘周辺の観察が雨で中止となりましたが、今年は午前中、時折雨が降ったもののさほどでもなく、引率の先生と相談して山荘周辺の観察を行いました。この時期は、花も見られるし、花が終わったものは実をつけ始めています。広場の周辺のクワやコウゾも赤や紫色の実をつけていました。午後は雨もだいぶ降ってきましたが屋内で山の手入れで得られる木材を使った木工クラフトです

3年生はリュールシロホン、4年生はカスタネットを作りました。

午後2時過ぎに子供たちは作った作品を大事に抱えながらバスに乗り込み学校へ戻りました。

2 その他の活動 (4~6月)

(1) いわき明星大学の学校林の管理及び整備

4月：4、11、18、25 支援者延 8名

5月：9、16、23、30 支援者延 8名

6月：6、13、20、27 支援者延 8名

(2) 研修会等の開催

① 草木染勉強会

5/28 (土) 9:00 から湯の岳山荘で草木染の勉強会が行われました。参加者は、14名でした。

② 布草履作り研修会

7月のろうきん森の学校のメニューにもなっている布草履作りの研修会が6/16、6/23それに6/30に行われました。

佐藤勝美さんの指導で、参加者は各自市販されている布草履のキットを使い、いわきの森に親しむ会で所有する治具を使って布を編み、紐を作り草履に仕上げました。

出来上がった布草履を見せてもらおうと材料の布が色や模様がまちまちなので、同じものが二つとない模様や色合いそして形の草履になっていてとても面白いものでした。

できた草履は自宅で使用するとのことでした。

参加者はそれぞれ2、5、3名でした。

草木染勉強会

タテアイの乾燥葉で染めてみよう

1.日 時 2016H28.05.28 (土) 9:00~12:00 2.参加者 14名 3.場所 湯ノ岳山荘
今回はタテアイの乾燥葉で染の勉強会を行いました。

前回 (H20.7.30) 実施した生葉染めはハナダ色やアサギ色に染まりますが生地は絹となります。乾燥葉で染めると素敵な藍色や濃紺に染めることが出来きて生地は綿布でも染まります、今回は綿のハンカチを主に染めの勉強を行いました。

また、試験的に木綿のTシャツとサラシを染めてみましたが斑染めとなってしまいました。

第1回としては、思ったより楽しく染めることが出来ました。

しかし一般の方々を対象としたプログラムへの昇格はまだ経験不足と思われます。(伊藤)



染めた作品の前で

ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成 28 年 5 月 15 日～7 月 17 日)

I. 平成 28 年 5 月 15 日 (日) (天候快晴)

1. 実施内容

①自然観察会、②森林療法体験、③野外料理

2. 参加者 40 名

3. 実施結果

今回はいわき市林務課他 8 名の方々の参加あり総勢 40 名と盛会となりました。

① 自然観察会

今回は林務課のグループに同行しました。新緑の森の中で目を閉じ耳を澄ましてとりの鳴き声や風の音を味わいました。

観察された主な花は、ヤブデマリ、キンラン、ギンラン、フタリシズカなど見ごろでした。

生き物としてカエルを手掴みするなど童心に帰り楽しんだようです。



② 森林療法体験

自然観察の途中で森の中でゆっくり休み森林療法を体験しました。



森林療法体験

③ 野外料理

山菜料理を味わいました。

II. 平成 28 年 6 月 19 日 (日) (天候曇り)

1. 実施内容

①自然観察会、②パンづくり体験、③野外料理
④木工クラフト

2. 参加者 40 名

3. 実施結果

今回はお子さん連れなど多数の女性の参加あり賑やか学校となりました。

① 自然観察会

観察は、ろうきん森の学校観察コースを主にと水辺と森を中心に 3 班に分かれました。

②パンづくりと野外料理体験

今回はパン作りが目玉でした。



パンの生地作り

パンの生地作りから石窯で焼くまで体験することができました。何と言っても石窯担当は大忙しでした。



(上) 石窯でパンを焼く(下)焼きたてのパン



④木工クラフト

午後から木工クラフトでした。大人は寿司台、子供は木の自動車の組立てでした。

Ⅲ.平成 28 年 7 月 17 日（日）（天候晴れ）

1. 実施内容

- ①自然観察会、②布草履作り体験、③野外料理
- ④木工クラフト

2. 参加者 34 名

3. 実施結果

今回初の布草履作りを計画しました。

② 自然観察会

今回は生き物と植物チームに編成しました。
虫かご持参のお子さんも参加、昆虫の観察を主に観察。

③ 布草履作り体験

今回初の布草履作りに挑戦しました。



布草履作り体験は参加者 6 名でした



④ 野外料理 石窯料理



⑤ 木工クラフト 親子での参加者がミニカーづくりを体験しました。

ろうきん連合会自然体験活動

7 月 9 日（土）ろうきん連合会の皆さん（大人 34 名、お子さん 4 名）が自然体験のため湯ノ岳山荘を活用されました。

先ず湯ノ岳山荘観察コースを活用し夏の広葉樹の森を観察しました



自然観察会

午後は広葉樹の刈払とバンガロー周辺の草を刈る里山整備でした、当日はあいにく小雨の天気でしたが気にもせず里山整備を体験されました。



里山整備

里山整備後工房にて木工クラフトで大人もお子さんも楽しんだようです。

作品は大人がコースター、お子さんは創作熊さんでした。



木工クラフト

以上

東北労金新入職員研修

湯ノ岳山荘で、平成 28 年 7 月 13 日（水）～14 日（木）にかけてろうきん東北新入職員 30 名の新入職員研修会が開催されました。

本会では 14 日に実施された「ろうきん森の学校観察コース案内」・「栗園跡地の森林づくり体験」と「木工クラフト」を支援しました。

○.小雨の降る中でしたが、夏のろうきん森の学校観察コースを散策して頂きました。

コース内には夏のキノコで鮮やかな色のタマゴダケが観察できました。あまりにも鮮やかな赤色でした。

テングダケの間では数少ない食キノコです。

○. 栗園跡地の森林整備体験は約 2m を超えたススキの仮払いを小雨の中体験して頂き森林づくりの厳しさを実感されたと思っています。



栗園跡地で森林整備について説明



ススキの刈払

○. 仮払い後クヌギ 40 本の植樹を行いました。今後どのような森林に育つのか楽しみで、何時か訪れたい希望の方がおりました。是非手入れを含めてお願いしたいと思っています。

植樹作業



クヌギの植



植樹を終えて集合写真

○. 午後は工房にて木工クラフトで楽しんで頂きました。鋸の取扱いに危なっかしい方もおりましたが作品のコースターは各自思い思いのデザインの出来栄でした。とにかく楽しんだようでした。



木工クラフト製作

湯ノ岳山荘からのお知らせ

ヒノキ風呂完成

湯ノ岳山荘のヒノキ風呂は一時取り外しおりましたが6月に入り家具職人である安田様とその補助として山荘当番者である安富さんが中心となり風呂桶の製作に取りかかり7月2日に清々しいヒノキの香りする風呂が出来上がりました。

ヒノキの香りは森林浴のリラックス効果とリフレッシュ効果があるとされております。

特に心への作用があり緊張緩和・レフレッシュ・ストレス緩和など癒してくれるそうです。

また、ヒノキは抗ウイルス・殺菌作用があり入浴することで肌が清潔に保つことが出来る特別な風呂です。是非利用下さい。

但し、山荘の風呂には大きな弱点があります。それは水です。湯水が大問題です。先ず風呂は大丈夫かと確認してください。



完成したヒノキ風呂(7/2撮影)

山荘のリホームその後

林業研修センター階段のカーペット張替はほぼ完了致しました。長い間ご不便をおかけしました。

☆いわきの森に親しむ会の
Facebook ページができました！



<https://www.facebook.com/iwakinomori>

「いわきの森」で検索すると
探しやすいです。

編集後記

新年度が始まり、会の活動も新たな段階へとステップアップしているようです。今までの経験をもとに、新しいものを取り入れたり、その準備としてみんなで勉強会を開催したりと意気込みを感じます。

そんな思いを、共有できるよう紙面を通じて会員の皆様へお届けします。

皆様のペースで会のイベントに参加していただきお会いできたらうれしいです。

(鈴木)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>